

第 2 章

主な母子保健事業実績

I 県（保健所）で実施している 母子保健事業

1 検査

(1) 先天性代謝異常等検査

先天性代謝異常等検査は、生後4～7日の新生児に血液検査を行い、疾患を早期に発見し、適切な治療を行うことにより障害の発症を未然に防止することを目的とする。

ア 先天性代謝異常等検査受検状況の年次推移

(ア) 昭和60年度～平成25年度

年度	受検児数	疾 病 別 患 児 数							計(人)
		フェニールケトン尿症	楓糖尿症	ヒスチジン血症	ホモシスチン尿症	ガラクトース血症	先天性副腎過形成症	先天性甲状腺機能低下症	
S60～H4	178,686	0	2	18	1	0	5	51	77
H5～H24	338,771	3	0		2	14	16	381	416
患者発見率		1/178,000	1/266,000	1/30,000	1/178,000	1/38,000	1/25,400	1/1,200	

(注) ヒスチジン血症は、平成4年9月1日より先天性代謝異常等検査対象疾患から除外された。

(注) 患者発見率=疾患別患児数/受検児数(100未満四捨五入)

(イ) 平成26年度以降

年度	対象児数	受検児数	疾 病 別 患 児 数							計(人)
			フェニールケトン尿症	楓糖尿症	ホモシスチン尿症	ガラクトース血症	先天性副腎過形成症	先天性甲状腺機能低下症	その他	
平成25	14,637	15,541	1					12		13
26	14,236	15,295				1	1	21	1	24
27	14,125	15,212					1	11	1	13
28	13,688	14,725						9	2	11
29	13,209	14,217					3	10	1	14
30	12,956	13,684						10		10
令和元	11,977	12,985					1	8	1	10
2	11,638	12,330						6		6
3	11,618	12,377	1			1	1	14		17
4	10,540	11,171	1			1	1	11		14
5	9,868	10,372						16	1	17
6	8,939	9,473					1	7		8
	患者発見率		-	-	-	-	1/9,500	1/1,300	-	
(参考)全国患者発見率		1/25,600	-	1/247,200	1/24,700	1/11,100	1/1,500	-		

(注) 患児数は、翌年度内において確定診断された者の数である。(初回検査の結果、経過観察となり翌々年度以降に確定診断がついた者

(注) その他:タンデムマス法導入(平成24年10月)により新たに対象となった13疾患

(シトルリン血症1型, アルギニノコハク酸尿症, メチルマロン酸血症, プロピオン酸血症, イソ吉草酸血症, メチルクロトニルグリシン尿症, ヒドロキシメチルグルタル酸血症(HMG血症), 複合カルボキシラーゼ欠損症, グルタル酸血症1型, 中鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症(MCAD欠損症), 極長鎖アシルCoA脱水素酵素欠損症(VLCAD欠損症), 三頭酵素/長鎖3-ヒドロキシアシルCoA脱水素酵素欠損症(TFP/LCHAD欠損症)

(注) 全国患者発見率は、「先天性代謝異常等検査実施状況(令和5年度)」(こども家庭庁母子保健課)の数値。

イ 保健所別先天性代謝異常等疾患児数

(令和6年度)

保健所別	区分	疾 病 別 患 児 数							計(人)
		フェニールケトン尿症	楓糖尿症	ホモシスチン尿症	ガラクトース血症	先天性副腎過形成症	先天性甲状腺機能低下症	その他	
指宿							1		1
加世田									0
伊集院							1		1
川薩									0
出水									0
大分									0
始良									0
志布志									0
鹿屋									0
西之表									0
屋久島									0
名瀬									0
徳之島									0
計(県保健所)		0	0	0	0	0	2	0	2
鹿児島市						1	3		4
計(県)		0	0	0	0	1	5	0	6
県外からの里帰り							2		2
総計		0	0	0	0	1	7	0	8

(注) 患児数は、翌年度内において確定診断された者の数である。(初回検査の結果、経過観察となり翌々年度以降に確定診断がついた者は除く。)

2 保健指導・相談事業

(1) ハイリスク母子保健対策事業・小児慢性疾病児支援事業

疾病により長期に療養を要する児童やその家族、また、養育支援を必要とする妊産婦及び乳幼児に対し、関係機関と連携し、相談支援や支援調整会議等を行い、児童と家族の負担や不安の軽減を図る。

ア ハイリスク母子・小児慢性特定疾病児等に対する訪問指導

(令和6年度)

保健所名	妊婦		産婦		新生児(未熟児を除く)		未熟児		乳児(未熟児を除く)		幼児		その他		小児慢性特定疾病児		計(実)	計(延)
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延		
指宿	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
加世田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	8	6	8
伊集院	0	0	2	3	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	13	20	18	26
川薩	1	1	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9	13	13	17
出水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	9	8	9
大口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
始良	0	0	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	13	14
志布志	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4
鹿屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	14	23	15	25
西之表	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	3	4
屋久島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
名瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	15	12	15
徳之島	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	8	9
計	1	1	7	8	8	8	0	0	1	1	0	0	1	2	85	114	103	134

イ 面接・電話による支援状況

(令和6年度)

ハイリスク母子				小児慢性特定疾病児			
面接		電話		面接		電話	
実	延	実	延	実	延	実	延
34	34	50	117	925	1,324	552	1,395

ウ 支援調整会議

(令和6年度)

	ハイリスク母子		小児慢性特定疾病児	
	保健所主催	他機関主催	保健所主催	他機関主催
圏域内の支援体制調整会議	16	44	12	34
個別支援に関する検討	2	7	8	25

エ 医療連携(医療機関での面接) (令和6年度)

	実人員	延回数
ハイリスク母子	0	0
小児慢性特定疾病児	1	1
その他	0	0
計	1	1

オ 集団支援

子どもが低出生体重児であったり、慢性疾病があるなどして育児不安のある母親や産後うつ病、虐待ハイリスク群である母親等に対して、交流会や情報提供のための教室等を実施することで、母親等の不安やストレスの軽減を図るとともに、児童虐待の発生を予防することを目的とする。

(令和6年度)

区 分	開催回数 ※1	内容（延回数）				参加者 （延人数）				相談従事者数 （延人員）							
		交流会	ピア カウン セリン グ	教室	療 育 相 談 会	保 護 者	児	そ の 他	計	医 師	心 理 士	理 学 療 法 士	保 育 士	保 健 師	ボ ラ ン テ ィ ア	そ の 他	計
指 宿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加 世 田	1	1	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	2	0	2	4
伊 集 院	1	1	0	0	0	4	2	0	6	0	0	0	1	7	0	1	9
川 薩	1	1	0	0	0	2	1	0	3	0	0	0	0	2	0	3	5
出 水	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	5	0	1	6
大 口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
始 良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
志 布 志	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿 屋	2	2	0	2	0	6	4	2	12	0	0	0	0	10	0	3	13
西 之 表	1	1	1	0	0	4	0	0	4	0	0	0	1	1	0	1	3
屋 久 島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
名 瀬	3	0	0	0	3	14	8	2	24	2	0	0	0	4	0	5	11
徳 之 島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	10	6	1	3	3	32	16	4	52	2	0	0	2	31	0	16	51

※1:1回の教室の中にグループミーティングやピアカウンセリングを同時開催していることもあるため、開催回数と内容の回数の合計は必ずしも一致しない。

(3) 不妊治療対策事業

ア 不妊専門相談センター事業

不妊に悩む夫婦等に対し、一般相談窓口(保健所)と専門相談窓口(鹿児島大学病院)を開設し、不妊に関する情報提供や不妊相談を行う。

(7) 相談者の状況 (令和6年度)

機関	相談者	相談(全体)		面接		電話		メール	
		実	延	実	延	実	延	実	延
保健所	指 宿	10	16	10	13	1	3		
	加 世 田	32	32	31	31	1	1		
	伊 集 院	37	59	30	38	18	21		
	川 薩	96	171	72	108	44	63		
	出 水	28	42	23	32	8	10		
	大 口	7	9	7	8	1	1		
	始 良	141	164	87	103	55	61		
	志 布 志	20	24	18	21	2	3		
	鹿 屋	86	123	73	80	37	43		
	西 之 表	7	10	5	8	2	2		
	屋 久 島	7	14	5	8	4	6		
	名 瀬	36	55	27	40	10	15		
	徳 之 島	22	45	16	24	11	21		
●一般相談窓口 保健所計	529	764	404	514	194	250			
●専門相談窓口 鹿児島大学病院	6	6			2	2	4	4	
総 計	535	770	404	514	196	252	4	4	

(イ) 相談内容 (令和6年度)

機関	内容	相談者数		主たる相談内容									
		実	延	不妊の原因	検査・治療	病院情報	主治医・病院への不満	偏見や無理解への不満	家族に関すること	費用・助成制度	治療と仕事の両立	その他	不育(再掲)
保健所	指 宿	10	16	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0
	加 世 田	32	32	0	1	0	0	0	0	31	0	0	1
	伊 集 院	37	59	0	0	0	0	2	0	57	0	0	1
	川 薩	96	171	0	0	0	0	0	0	171	0	0	1
	出 水	28	42	0	0	1	0	0	0	41	0	0	2
	大 口	7	9	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0
	始 良	141	164	0	0	0	0	1	0	163	0	0	1
	志 布 志	20	24	1	3	0	3	0	0	13	1	3	0
	鹿 屋	86	123	0	0	0	0	0	0	122	0	1	3
	西 之 表	7	10	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0
	屋 久 島	7	14	0	0	0	0	0	0	13	0	1	0
	名 瀬	36	55	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0
	徳 之 島	22	45	0	0	0	0	0	0	44	0	1	0
●一般相談窓口 保健所計	529	764	1	4	1	3	3	0	745	1	6	9	
●専門相談窓口 鹿児島大学病院	6	6	0	3	0	0	0	0	2	0	1	0	
総 計	535	770	1	7	1	3	3	0	747	1	7	9	

イ 先進医療不妊治療費助成事業

保険適用による生殖補助医療と併用可能な先進医療を受ける夫婦に対し、先進医療に要する費用の一部を助成する。(令和5年度事業開始)

(ア) 助成件数

保健所名	年度	
	令和5	6
指 宿	17	19
加 世 田	48	36
伊 集 院	103	45
川 薩	136	109
出 水	31	22
大 口	7	7
始 良	200	158
志 布 志	14	24
鹿 屋	119	98
西 之 表	8	5
屋 久 島	7	9
名 瀬	46	42
徳 之 島	54	26
総 計	790	600

※令和5年度は、保険適用となった令和4年4月1日以降に治療開始し令和4年度中に治療が終了した者も助成対象とする。

(4) 女性健康支援センター事業

ア 女性健康支援センター事業

思春期から更年期に至る女性に対し、一般相談窓口(保健所)と専門相談窓口(鹿児島県助産師会)を開設し、女性の健康や予期せぬ妊娠、出産等に関する情報提供や相談を行う。

(ア) 相談者の状況

(令和6年度)

機関	相談者	相談(全体)		面接		電話		メール	
		実	延	実	延	実	延	実	延
保健所(一般相談窓口)	指 宿	0	0	0	0	0	0		
	加 世 田	0	0	0	0	0	0		
	伊 集 院	4	4	0	0	4	4		
	川 薩	1	2	1	1	1	1		
	出 水	4	4	0	0	4	4		
	大 口	0	0	0	0	0	0		
	始 良	6	48	1	1	5	47		
	志 布 志	3	5	1	2	3	3		
	鹿 屋	4	5	0	0	4	5		
	西 之 表	1	1	1	1	0	0		
	屋 久 島	0	0	0	0	0	0		
	名 瀬	0	0	0	0	0	0		
	徳 之 島	1	6	0	0	1	6		
● 一般相談窓口 保健所計	24	75	4	5	22	70			
● 専門相談窓口 (県助産師会)	285	553			282	550	3	3	
総 計	309	628	4	5	304	620	3	3	

(イ) 相談内容

(令和6年度)

機関	内容	相談者数		主たる相談内容						
		実	延	思春期	妊娠・避妊	予期せぬ妊娠	不妊	メンタルケア	更年期	その他
保健所(一般相談窓口)	指 宿	0	0							
	加 世 田	0	0							
	伊 集 院	4	4	1						3
	川 薩	1	2	2						
	出 水	4	4	1					1	2
	大 口	0	0							
	始 良	6	48		1				8	39
	志 布 志	3	5	2						3
	鹿 屋	4	5		1	1				3
	西 之 表	1	1						1	
	屋 久 島	0	0							
	名 瀬	0	0							
	徳 之 島	1	6							6
● 一般相談窓口 保健所計	24	75	6	2	1	0	0	10	56	
● 専門相談窓口 (県助産師会)	285	553	8	41	6	2	41	9	446	
総 計	309	628	14	43	7	2	41	19	502	

3 医療給付

(1) 小児慢性特定疾病医療費助成事業(旧小児慢性特定疾患治療研究事業)

国の定める対象疾病に罹患している18歳未満の児童に対して、治療の確立と普及を図り、併せて患者家庭の医療費の負担軽減に資するため医療費の自己負担の一部を助成する。

疾患群名	年度												
	平成24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
悪性新生物	173 (245)	162 (236)	206 (326)	151 (239)	151 (247)	154 (253)	159 (258)	152 (264)	154 (261)	177 (298)	171 (280)	174 (277)	164 (104)
慢性腎疾患	138 (196)	144 (211)	180 (290)	146 (218)	141 (210)	137 (213)	121 (199)	108 (187)	101 (170)	103 (177)	92 (160)	84 (144)	85 (52)
慢性呼吸器疾患	42 (55)	44 (61)	68 (97)	34 (55)	38 (62)	34 (59)	38 (61)	36 (68)	35 (67)	36 (74)	35 (65)	45 (77)	35 (37)
慢性心疾患	312 (570)	324 (606)	404 (835)	352 (655)	353 (632)	373 (665)	364 (648)	388 (668)	378 (663)	409 (730)	379 (661)	393 (660)	388 (290)
内分泌疾患	499 (764)	516 (790)	648 (1,100)	517 (789)	519 (791)	499 (760)	436 (675)	389 (627)	374 (581)	397 (617)	367 (556)	314 (499)	296 (179)
膠原病	55 (87)	52 (84)	69 (113)	39 (61)	37 (62)	41 (68)	32 (56)	30 (55)	38 (59)	37 (64)	33 (62)	42 (70)	40 (25)
糖尿病	97 (150)	93 (143)	136 (240)	107 (158)	104 (158)	99 (161)	90 (152)	85 (150)	93 (160)	106 (181)	101 (181)	88 (176)	88 (91)
先天性代謝異常	43 (66)	42 (67)	57 (96)	33 (52)	24 (42)	27 (46)	30 (49)	25 (45)	26 (44)	25 (49)	24 (46)	20 (42)	18 (23)
血友病等血液・免疫疾患	45 (59)	51 (65)	55 (74)	40 (63)	49 (77)	60 (90)	54 (87)	55 (81)	52 (72)	65 (82)	59 (76)	49 (66)	44 (24)
神経・筋疾患	56 (72)	55 (79)	87 (147)	86 (129)	96 (138)	116 (164)	114 (170)	139 (207)	134 (218)	140 (244)	135 (239)	143 (252)	145 (119)
慢性消化器疾患	27 (40)	26 (41)	31 (62)	50 (72)	62 (92)	65 (101)	75 (112)	74 (114)	70 (114)	88 (137)	88 (147)	97 (173)	103 (90)
染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	—	—	0 2	15 25	17 (27)	22 (33)	27 (34)	27 (43)	31 (47)	37 (55)	35 (53)	36 (54)	38 (15)
皮膚疾患	—	—	1 1	2 4	3 (6)	4 (7)	5 (9)	6 (9)	6 (8)	3 (6)	3 (6)	6 (10)	6 (6)
骨系統疾患	—	—	—	—	—	—	5 (12)	7 (16)	10 (19)	11 (22)	10 (23)	12 (25)	15 (16)
脈管系疾患	—	—	—	—	—	—	1 (3)	2 (5)	1 (5)	2 (8)	3 (7)	4 (7)	4 (4)
計	1,487 (2,304)	1,509 (2,383)	1,942 (3,383)	1,572 (2,520)	1,594 (2,544)	1,631 (2,620)	1,546 (2,525)	1,523 (2,539)	1,503 (2,488)	1,636 (2,744)	1,535 (2,562)	1,507 (2,532)	1,469 (1,075)

※(注)1 平成26年12月まで「小児慢性特定疾患治療研究事業」として実施。

平成27年1月から児童福祉法の改正により、「小児慢性特定疾病医療費助成事業」に移行し、対象疾病の拡大などが図られた。

平成26年度については、「小児慢性特定疾患治療研究事業」と「小児慢性特定疾病医療費助成事業」のそれぞれで実人員を集計しており、重複受給を含むため、他の年度との比較はできない。

※(注)2 ()内に鹿児島市を含む受給者数を再掲。

(2) 妊娠高血圧症候群等療養援護

妊娠高血圧症候群等に罹患している妊産婦(所得税額30,000円以下の世帯が対象)で入院治療が必要な場合に、入院治療に要した費用の一部を助成する。

(実人員)

年度	区分	給付人員					計
		妊娠高血圧症 (妊娠中毒症)	糖尿病	妊産婦貧血	産科出血	心疾患	
平成18						0	
23		6	2			8	
24		2	2			4	
25		2				2	
26		1				1	
27		0(1)	1(1)			1(2)	
28		0(1)	1(1)			1(2)	
29			2(3)			2(3)	
30		2(1)	0(1)			2(2)	
令和元		0(1)	1(2)			1(3)	
2			2(4)	0(1)		2(5)	
3						0	
4		1(4)				1(4)	
5		1(3)		0(1)		1(4)	
6		1(2)	0(1)			1(3)	

(注) 平成27年度分から()内に鹿児島市を含む受給者数を再掲。

